



CL5716



CS1716A

## 富士通製サーバ「PRIMERGY」と ATEN KVM ドロワーの接続検証結果報告書

ATEN ジャパン株式会社  
技術部

### 1. 検証概要

ATEN KVM ドロワーは、PS/2 と USB の混在が可能になり、Windows と Linux 環境に適した KVM ドロワーです。PRIMERGY シリーズと KVM ドロワー、および KVM スイッチとの接続時による動作検証を実施致しました。

また、下記リリースに基づき Asianux Server 3 (RX200 S5) との動作検証を実施致しました。

<http://pr.fujitsu.com/jp/news/2009/08/18.html>

### 2. 検証期間： 2009年9月29日～10月8日

### 3. 検証装置

| 型番      | 概要   |
|---------|--|
| CL5716  | 17" LCD KVM ドロワー、PS/2・USB 対応、16 ポート KVM 内蔵 |
| CS1716A | PS/2・USB 対応、16 ポート KVM スイッチ                |

### 4. サーバ構成

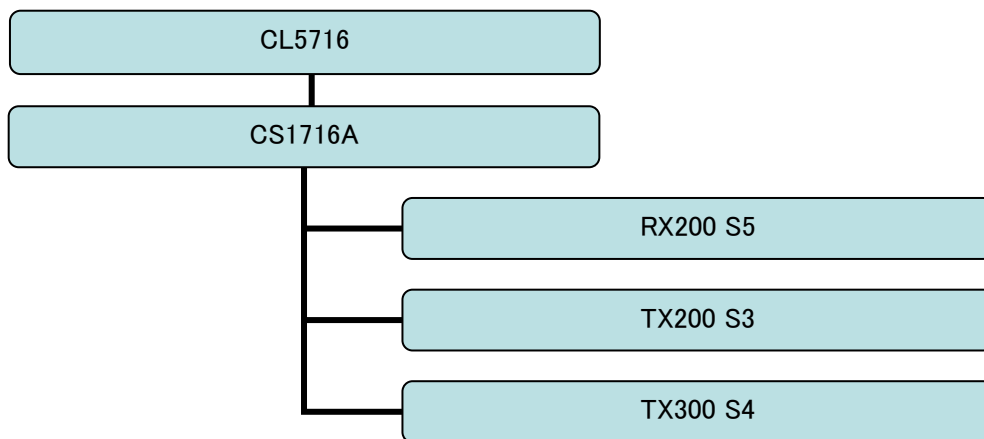
| 型番                | OS   |
|-------------------|--|
| PRIMERGY RX200 S5 | Windows Server 2003 R2, Standard Edition (SP2) |
|                   | Windows Server 2008 Standard Edition           |
|                   | Asianux Server 3                               |
| PRIMERGY TX200 S3 | Windows Server 2003 R2, Standard Edition (SP2) |
| PRIMERGY TX300 S4 | Windows Server 2003 R2, Standard Edition (SP2) |
|                   | Windows Server 2008 Standard Edition           |

5. 検証項目

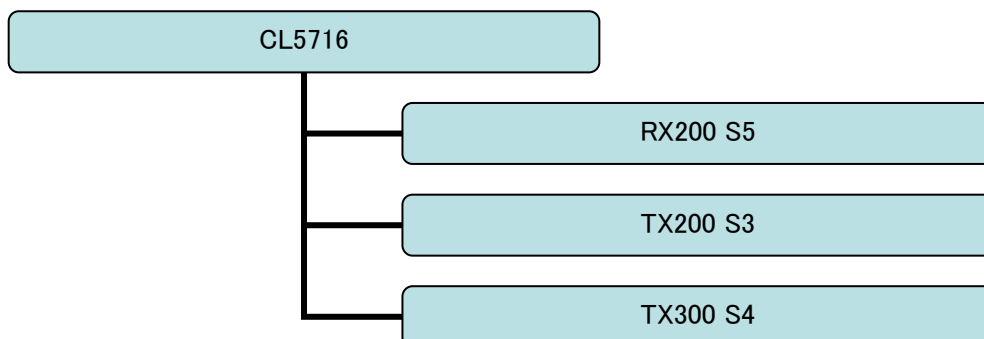
- A) コールドスタート時、ホットスタート時、リブート時、それぞれの動作確認
- B) 日本語キーボードのキーマップおよびキーコードの整合性
- C) LCD 画面の表示
- D) サーバ側接続に PS/2 対応 KVM ケーブルまたは、USB 対応 KVM ケーブルを使用し動作確認
- E) サーバ側接続に USB 対応 KVM ケーブルを使用し正しくホットプラグするか確認
- F) KVM ドロワー側タッチパットの動作確認
- G) RX200 S5 および TX300 S4 の各 OS 時に違いがあるか確認

6. 構成図

CL5716+CS1716A 構成例



CL5716 構成例



## 7. 接続方法

CL5716 と CS1716A の接続は、専用デジチェンケーブルにて接続します。

各サーバ間は、PS/2 or USB 対応 KVM ケーブルにて接続します。

## 8. 検証結果

A) コールドスタート時、ホットスタート時、リブート時、それぞれの動作確認

・コールドスタート時

サーバ側シャットダウン後に接続されている電源ケーブルを切り離し、しばらく(数秒~数分)経過後に電源ケーブルを接続し、スタート動作を数回繰り返しました。結果すべて正常動作しております。

・ホットスタート時

サーバ側に接続されているケーブル類は接続されたまま、シャットダウンとスタート動作を数回繰り返しました。結果すべて正常動作しております。

・リブート時

サーバ側に対して、リブート動作を数回繰り返しました。結果すべて正常動作しております。

B) 日本語キーボードのキーマップおよびキーコードの整合性

テキストエディタを起動し、各キーを押し実際に入力される文字とキーマップが正しいことを確認致しました。

C) LCD 画面の表示

BIOS/POST 画面、起動時画面の全てを確認し、すべて正常に表示しております。

また、GUI 画面時に各設定可能解像度にて稼働時画面、スクリーンセーバー、ブランク画面の全てを確認し、すべて正常に表示しております。

D) サーバ側接続に PS/2 対応 KVM ケーブルまたは、USB 対応 KVM ケーブルを使用し  
動作確認

上記 PRIMERGY シリーズにおいて正常動作しております。

E) サーバ側接続に USB 対応 KVM ケーブルを使用し正しくホットプラグするか確認

各サーバ稼働時に USB 対応 KVM ケーブルを数度抜き差し致しました。サーバ側の USB ホットプラグが正常動作し、正しく再認識することを確認致しました。

F) KVM ドロワー側タッチパットの動作確認

サーバ側のデバイス認識にて、KVM ドロワー側タッチパットを OS 標準マウスとして認識し PS/2 接続時は「PS/2 互換マウス」、USB 接続時は「HID 準拠マウス」として認識しておりました。また、タッチパットの全ての動作において、正常動作を確認致しました。

G) RX200 S5 および TX300 S4 の各 OS 時に違いがあるか確認

Windows の各バージョンの OS 動作時、および Asianux Server 3 (RX200 S5) 動作時に共に違いなく正常動作を確認致しました。

お問い合わせ先

ATEN ジャパン株式会社 技術部

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-16-6 タツミビル 8F

Tel: 03-5323-7170 Fax: 03-5323-2181 Email: [support@atenjapan.jp](mailto:support@atenjapan.jp) URL: [www.atenjapan.jp](http://www.atenjapan.jp)